

福岡市美術館 平成 29 年度事業報告及び平成 30 年度事業計画について

I 平成 29 年度事業報告について

1 展覧会の開催

休館中のため実施無し。(平成 31 年 3 月開館予定)

(参考) 観覧者統計

(単位：展／人)

年度	常設展	特別企画展		貸会場展		合 計	
		展覧会数	観覧者数	展覧会数	観覧者数	展覧会数	観覧者数
27	90,896	4	311,459	170	207,121	174	609,476
28*	35,077	3	77,313	46	74,266	49	186,656
過去 10 年間の平均	68,926	3.4	140,413	238	242,866	170	452,204

開館以来累計	2,955,277	128	5,034,024	6,872	15,900,461	7,000	23,889,762
--------	-----------	-----	-----------	-------	------------	-------	------------

* 平成 28 年度の数値については、改修工事のため、同年 4 月 1 日から 8 月 31 日までの実績。

2 美術品の収集

区 分	主な作品名	点数
先行取得分の購入 (※)	北山善夫《言葉は海へ》 川俣正《大手門，和田荘》 鈴木淳《IE4・家族の森》	3
購 入	《黒褐釉櫛目文大壺》 《無釉播座三脚壺》 《紫地小花文様更紗》 《花束文様更紗腰衣》 手塚愛子《縦糸を引き抜くー五色》 山本高之《Facing the Unknown》 上田薫《スプーンの自画像A》	7
寄 贈	朝倉撰《日本 1958》下絵 手塚愛子《Certainty/Entropy》 山本高之《なまはげに質問する》 ワックスプリントハンガー見本 など	20

※「先行取得分の購入」は、過去に（公財）福岡市文化芸術振興財団に購入を依頼し、美術館が保存・展示していたものを、同財団から購入したもの。

※29 年度 購入予算現額 18,248,000 円（うち 28 年度「ふくおか応援寄付」分：9,113,000 円）

(参考) 29 年度「ふくおか応援寄付」による寄付額

(9 名) 810,000 円

3 他館における展示

展覧会名		開催日	開催地	当館所蔵品
1	アジアギャラリー	常設展示中	福岡アジア美術館	アニッシュ・カプーア, ザオ・ウーキー
2	企画展示 市美×市博 黒田資料名品展	4月18日～ 6月25日 外	福岡市博物館	黒田資料
3	アジアの動物造形 外	4月4日～ 6月4日 外	九州国立博物館	台付子持装飾壺(重美), 色 絵鶏親子置物 外
4	堅粕薬師と東光院の古仏たち	2月10日～ 4月11日	九州歴史資料館	木造薬師如来立像(重文), 木造十二神将像(重文)
5	夢の美術館 ーめぐりあう名画たち	4月11日～ 10月23日	熊本県立美術館 久留米市美術館 宮崎県立美術館 島根県立美術館	ダリ, ミロ, ウォーホル, フジタなど 39点
6	モダンアート再訪ーダリ, ウ ォーホルから草間彌生まで 福岡市美術館 コレクション展	2月3日～ 3月18日	鳥取県立博物館	ダリ, ミロ, ウォーホル, 九州派の作家, 大竹伸朗 など 76点
7	吉田博展	4月29日～ 8月27日	上田市立美術館 東郷青児記念損 保ジャパン日本 興亜美術館	吉田博 油彩・水彩 18点

・ 関連イベント

事業名	開催日	講師	参加者数
市美×市博 黒田資料名品展関連講座 ここまでわかった！ 塩竈・松島図屏風の謎	10月15日	[美術館] 宮田学芸員 [博物館] 宮野学芸員	29人

4 教育普及事業

(1) 学校団体受入事業「こどもアートアドベンチャー」

休館中のため実施無し。

※代替として、アウトリーチ事業「どこでも美術館」を実施。(4ページ(7)参照)

(2) 子ども向け事業

①「もうすぐ夏休み！こども美術館」

【対象】未就学児～小学生とその保護者

【場所】なみきスクエア

事業名	開催日	内容	参加者数
1 布のヒミツ	7月8日	福岡市科学館との共同ワークショップ。布をルーペで観察後、「織り」の原理を使って布を作成。	44人
2 ミニミニワークショップ		未就学児童対象プログラム。タネ型の箱から素材を3つ引いて作品を制作。	153人
3 マスクをつくって変身しよう！		当館所蔵作品を元にした塗り絵を使ってマスクを作成。	186人
4 布をきてみよう！		どこでも美術館「染め・織りものボックス」のカンガを、自由な発想で纏う。	87人

② 「絵本作家・荒井良二さんと壁に絵を描こう」

絵本作家・荒井良二さんとともに、工事中の美術館仮囲いに掲出する壁画を制作。

【開催日】11月3日 【参加者】30人(小学校3年生～中学生)

(3) 家族向け事業「ファミリーDAY」

【対象】小学生以上とその保護者 【場所】中央児童会館あいくる

事業名	開催日	内容	参加者数
1 掛け軸をつくろう！	11月4日	尾形乾山《花籠図》の複製画を鑑賞した後、オリジナルの掛け軸を制作。	24人
2 キミも現代アーティスト？身近なもので作品をつくろう！		どこでも美術館教材の一つである藤浩志《ヤセ犬》を鑑賞後、参加者が思う「ヤセ犬」を制作。	18人

(4) 高齢者向け事業「いきヨウヨウ講座」

【対象】60歳以上 【場所】南市民センター

事業名	開催日	講師	内容	参加者数
第4回いきヨウヨウ講座「おしゃべりな布をつくろう！」	3月10日	織本 知英子	アフリカの布「カンガ」の歴史や使い方、オリジナルカンガ制作。	14人

(5) 学芸員による講座「つきなみ講座」

【場所】アジア美術館又は福岡市博物館

テーマ	開催日	担当	参加者数
1 福岡市美術館の仏教絵画Ⅱ水墨画 —滲みと擦れの表現—	4月15日	錦織館長	31人
2 パイクとカプーア —欧米で活躍するアジア出身の美術家	5月27日	山口学芸係長	37人
3 続・「どこでも美術館」で館外へ！ —リニューアル休館中の活動報告	6月17日	崎田学芸員	10人
4 絵画と陶磁器 木下空太郎による美術批評	7月15日	吉田学芸員	11人
5 こども★ひかりプロジェクト～ミュージアムがゆるやかに連携しながら地域をつくる	8月19日	鬼本主任学芸主事	9人
6 わたくしの展覧会学 —学芸員のあたまの中身、教えます—	9月16日	中山副館長	21人
7 現代美術の輸送と保存大作戦！	10月28日	渡抜学芸員	14人
8 ヨーロッパ更紗を着る アジアそしてアフリカへ	11月25日	岩永学芸課長	27人
9 耳庵・松永安左エ門の美術品収集	12月9日	後藤主任学芸主事	37人
10 描かれた『自然』 —聖地・名勝、そして風景—	1月20日	宮田学芸員	23人
11 展覧会は終わらない —現代アートの展覧会をつくる	2月17日	正路学芸員	33人
12 福岡市美術館の仏教美術3 —種類と姿—	3月17日	錦織館長	58人

(6) ボランティア活動

グループ		人数	内容	担当
1	新聞情報 ボランティア	35人	新聞掲載の美術関連記事の切り抜き、 ファイル作業など	後藤学芸主事
2	図書整理 ボランティア	18人	美術館蔵書の整理、データ入力など	中務嘱託司書
3	美術家情報整理 ボランティア	12人	美術館に届く展覧会案内状の分類、整理、 データ入力など	正路学芸員 上野嘱託学芸員
4	ギャラリーガイド ボランティア	56人	一般来館者・学校団体への常設展示作品の 紹介。街歩きアートツアーの企画・実施。	教育普及係

(共通活動)

- ・「もうすぐ夏休み！こども美術館」のサポート
- ・館外見学研修(11月26日) 【研修先】大分香りの博物館，大分県立美術館

(7) アウトリーチプログラム「どこでも美術館」

【対象】市内小中学校・公民館，病院等

① 教材制作「素材と技法ボックス」

- ・福岡教育大学美術教育講座の協力により油彩画，日本画の画材および技法サンプルを入れる教材ボックスを制作。
- ・彫刻素材の教材ボックスを制作。
- ・螺鈿細工の材料となるヤコウガイ，アワビなどを入れた教材ボックスを制作。

② 実績数

種別	件数 (件)									人数
	東	博	中	南	城	早	西	市	計	
小学校	2	2	3	2		1	1		11	1,110人
中学校			1	1		1			3	501人
公民館	1		1		1	1			4	127人
病院								1	1	88人
その他(※)	1		1						2	105人
計	4	2	6	3	1	3	1	1	21	1,931人

※「夏休みこども美術館」，「ファミリーDAY」(2ページ(2)①，(3)参照)での実施

5 ミュージアム連携事業

(1) 市内ミュージアム連携企画「福岡ミュージアムウィーク 2017」

事業名		開催期間	講師	参加者数
1	講演会 「美術館の未来 ー文化資源学の視点から」	5月21日	木下直之(東京大学教授)	90人
2	街歩きアートツアー	5月13日 ～19日	当館ボランティア	58人

(2) 福岡市美術館・福岡アジア美術館・福岡市博物館連携企画「冬のおとなミュージアム」

『コレクション×コラボレーション 激動の時代を生き抜いた人々』

福岡市美術館のコレクションを、福岡市博物館、福岡アジア美術館それぞれのコレクションとともに展示。

展覧会名		開催日	開催地	当館所蔵品
1	市美×市博 黒田資料名品展シリーズVI 黒田資料にみる幕末維新	1月10日 ～3月4日	福岡市博物館	住吉物語, 伊勢物語, 聞書 外
2	市美×アジア 異境にて ー日本作家の見たアジア	1月11日 ～4月17日	福岡アジア美術館	吉田博 《タジマハルの朝霧 第五》外

・ 関連イベント

事業名		開催日	講師	参加者数
1	ミュージアム・バスツアー	1月27日	[美術館] 正路学芸員, 吉田学芸員 [アジア美] 趙学芸員, [博物館] 佐々木学芸員, 高山学芸員	20人
2	コラボ・トーク (博物館)	1月14日	[美術館] 宮田学芸員 [博物館] 高山学芸員	20人
	コラボ・トーク (アジア美術館)	2月12日	[美術館] 正路学芸員 [アジア美] 趙学芸員	30人

(3) 福岡市文化プログラム「福岡城まるごとミュージアム」

【期間】 3月30日～4月8日

福岡城跡（舞鶴公園）全体をミュージアムに見立て、草間 彌生、スーザン・ヴィクターなど内外で活躍する6名のアーティストが福岡城を舞台に様々なアート作品を展示。

（「福岡城さくらまつり」と同時開催）

6 紀要

『福岡市美術館紀要第6号』（平成30年3月発行）

内容		執筆者
1	岸田劉生と木村荘八の描いた「妻」について	吉田学芸員
2	【報告文】平成28年度福岡市美術館大規模改修工事に先立つ美術資料等の輸送	渡抜学芸員 宮田学芸員
3	【資料紹介】満州の甲斐巳八郎 雑誌『協和』掲載挿絵・執筆記事③	中山副館長
4	『雲中庵茶会記』翻刻稿②	後藤主任学芸主事 岩永学芸課長 宮田学芸員

II 平成 30 年度事業計画について

1 展覧会の開催

平成 31 年 3 月～ 開館記念展（コレクションを中心とした展示予定）

2 美術品の収集

区 分	主な作品名	点数
先行取得分の購入	小山正《手の残像》 《白蓮社図》 など	6
購 入	(未定)	

※30 年度 購入予算額 7,061,000 円

3 他館における展示

展覧会名	開催日	開催地	当館所蔵品
1 アジアギャラリー 横尾忠則とアジア '89	常設展示中	福岡アジア美術館	アニッシュ・カプーア, ザオ・ウーキー
	9月20日 ～12月25日		横尾忠則 《「第3回アジア美術展」》 外
2 宇多源氏アイデンティテ ィ 外	5月2日 ～7月1日 外	福岡市博物館	波文螺鈿鞍（重文）, 源雅信像など
3 茶の湯を楽しむVII 博多 文琳と黒田家の茶道具 外	4月10日 ～6月3日 外	九州国立博物館	唐物茶入銘「博多文琳」, 文琳茶壺之記など
4 モダンアート再訪ーダリ, ウォーホルから草間彌生 まで 福岡市美術館コレ クション展	4月7日 ～11月4日	埼玉県立近代美術館	ダリ, ミロ, ウォーホル, 九州派の作家, 大竹伸朗 など 76 点
		広島市現代美術館	
		横須賀美術館	

4 教育普及事業

(1) 学校団体受入事業「こどもアートアドベンチャー」

平成 30 年 3 月開館以降, 実施。

(2) アウトリーチ事業「どこでも美術館」

① 教材制作

「版画ボックス」および「ワークショップボックス」の制作

② 実施予定

市内小学校	18校	市内中学校	5校
特別支援学校	1校	大学	1校
市内公民館	6館	病院	1件

(3) 子ども向け事業「夏休みこども美術館 2018」

8月3日・4日に、「夏休みこども美術館」を福岡市科学館と共同で、同館実験室にて開催。

【対象】 小学校3年生から中学生、各日20人。

(4) 家族向け事業「ファミリーDAY」

11月3日の開館記念日を中心に、若い世代の家族向け教育プログラムを実施。

(5) 高齢者向け事業「いきヨウヨウ講座」

60歳以上を対象とした講座で、美術及び美術館への造詣を深め、心の充実感を実感してもらう美術教育活動を実施。

(6) 学芸員による講座「つきなみ講座」(毎月1回)

月1回土曜日に、美術館職員が一般向けに自身の研究・展示・仕事内容等についての講座を実施。休館中はアジア美術館及び市博物館にて開催。

(7) ボランティア活動

新聞情報ボランティア、図書整理ボランティア、美術家情報整理ボランティアについて、それぞれ活動を実施。

ギャラリーガイドボランティアについては、展示室での活動に替わり、街歩きアートツアーを実施するとともに、開館に向けた研修を実施。

5 ミュージアム連携事業

(1) 市内ミュージアム連携企画「福岡ミュージアムウィーク 2018」

【期間】 5月12日(土)～5月20日(日)

事業名		開催期間	講師	参加者数
1	講演会&座談会 「美術館の過去(これまで)、現在(いま)、未来(これから)ーミュージアムの可能性を考える」	5月12日	【講師】 吉田憲司(国立民族学博物館館長) 【パネリスト】 吉田憲司、 山村健一郎 (福岡サイエンス&クリエイティブ代表取締役) 錦織亮介(福岡市美術館館長)	103人
2	街歩きアートツアー	5月12日 ～18日	当館ボランティア	83人

福岡アジア美術館 平成 29 年度事業報告及び平成 30 年度事業計画について

I 平成 29 年度事業報告について

1 展覧会の開催

(1) 特別企画展

	展 覧 会 名	会 期	開 催 日 数	出 品 点 数	観 覧 者 数	他 の 主 催
①	おいでよ！ 絵本ミュージアム 2017	7 月 20 日～ 8 月 20 日	32 日	—	55,608 人	西日本新聞社 テレビ西日本 NPO 法人子ども文化コミュニティ
②	サンシャワー： 東南アジアの現代美術展 1980 年代から 現在まで	11 月 3 日 ～12 月 25 日	46 日	89 点	7,391 人	西日本新聞社 TVQ 九州放送

① おいでよ！絵本ミュージアム2017 (担当：中尾収集展示係長)

福岡の夏の定番企画「おいでよ！絵本ミュージアム」シリーズの第 11 回目。人と人，人と自然のつながりの大切さをテーマに，子どもたちの感性や想像力・創造力をはぐくむような五感に働きかける仕掛けやオブジェ，絵本の世界観を感じることができる空間を作った。約 1000 冊の絵本と原画を展示したほか，彫刻ラウンジやホールで連日ワークショップやイベントを開催した。

② サンシャワー：東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで (担当：五十嵐学芸員)

近年，国際的な注目を集める東南アジア 10 か国の 1980 年代から現在までの美術を，「情熱と革命」「発展とその影」など 9 つの視点で掘り下げ，さらに当館の所蔵作品や映像資料などを加えて福岡と東南アジアとの美術交流を含めて紹介した。また出品作家を招聘してパフォーマンスやトークなどの関連イベント，関連企画「博多でつなぐ東南アジア」などをとおして博多部での作品を展開した。

(2) 常設企画展

	展 覧 会 名	会 期	開 催 日 数	出 品 点 数	観 覧 者 数
	博多でつなぐ東南アジア 担当：山木学芸員	11 月 1 日 ～12 月 25 日	55 日	1 点	約 40,000 人

特別企画展「サンシャワー：東南アジアの現代美術」に合わせて，出品作家のスーザン・ヴィクター（シンガポール）が，博多の承天寺の境内を会場に新作インスタレーションを発表した。博多部の観光イベント「博多ライトアップウォーク」とも連携することで，多くの来場者があった。

(3) コレクション展

展覧会名		会期	内容
1	光をつかまえて 担当：趙学芸員	3月23日～ 6月27日	「光」そのものをテーマにした作品から光を生み出す火を使った作品まで、絵画・版画・写真・映像作品を照明の演出を含めて展示した。出品数24点。
2	夏休み子ども企画 虫めがねで見てみよう！一ちっちゃいもん、こまかいもん 担当：柏尾囁託員	6月29日～ 8月29日	精密に描写した細密画や小さな作品，細かくて壊れそうな作品などを集め，虫めがねで見ることで，新しい作品世界を紹介する展覧会。出品数38点。
3	福岡市・ヤンゴン市姉妹都市締結記念 ようこそ，ミャンマー美術へ！ 担当：五十嵐学芸員	8月31日～ 1月9日	王室を描いた洋風絵画から，仏教国イメージの作品，政治社会問題をテーマとした現代美術作品など，20世紀初頭から現在までのミャンマー美術の歩みを紹介した。出品数32点。
4	冬のおとなミュージアム 異境にてー日本作家の見たアジア 担当：趙学芸員	1月11日～ 4月17日	三館連携企画の4回目。アジアという「異境」を旅し，移住した日本の作家を，市美所蔵作品を含めて紹介した。出品数54点（内，市美作品47点）。

関連イベント

テーマ	開催日時	担当	参加者数
コレクション展「異境にて」関連企画 安永幸一氏によるギャラリートーク	2月25日	安永幸一 (元福岡アジア美術館顧問)	50人

(参考) 観覧者統計

(単位：展／人)

年度	常設展	特別企画展		貸会場展		合計	
		展覧会数	観覧者数	展覧会数	観覧者数	展覧会数	観覧者数
28	65,061	2	49,082	85	137,182	87	251,325
29	66,383	2	62,999	73	183,358	75	312,740
過去10年間の平均	53,126	3	78,120	69	137,454	72	268,700

開館以来累計	949,822	56	1,621,576	1,088	2,200,788	1,144	4,772,186
--------	---------	----	-----------	-------	-----------	-------	-----------

2 美術品の収集

区分	主な作品名	点数
購 入	チッタプロサド「教室」 ラムキンカール・バイジ「行動せよ、さもなくば死を、1942年」 ソムナット・ホール「不詳（夜の集会）」 オ・ユン「大地」 レオニーリョ・ドロリコン「生産の力#1」 など	15
寄 贈	シア・アイホア「包まれた家－鍛冶屋」 アウンミン「王と王女」 など	4

※「先行取得分の購入」は無し。

※29年度 購入予算現額 5,100,000円

(参考) 29年度「ふくおか応援寄付」による寄付額

(14名) 1,140,000円

3 他館における展示

	展覧会名	開催日	開催地	当館所蔵品
1	サンシャワー：東南アジアの現代美術展 1980年代から現在まで	平成 29年 7月 5日～ 10月 23日	国立新美術館，森美術館	ウォン・ホイチョン，アマダ・ヘンなど 24点
2	単色のリズム 韓国の抽象	平成 29年 10月 14日～ 12月 24日	東京オペラシティ アートギャラリー	金煥基，尹亨根，朴栖甫，鄭相和など 9点
3	小沢剛 不完全 ーパラレルな美術史	平成 30年 1月 6日～ 2月 25日	千葉市美術館	小沢剛 1点
4	ラシード・アライーン 回顧展	平成 29年 12月 2日～ 平成 31年 6月 16日	ファン・アッペ美術館（オランダ） ジュネーヴ近現代美術館（スイス） バルティック現代美術センター（イギリス） ガレージ現代美術館（ロシア）	ラシード・アライーン 1点
5	シンガポール国立美術館 開館記念展 ※継続貸出	平成 27年 11月 24日～ 平成 30年 10月下旬	シンガポール国立美術館	チャーチャーイ・パイピ アなど 4点，映像資料 1点，
6	シンガポール国立美術館 開館記念展 ※新規貸出	平成 29年 12月 7日～ 平成 31年 4月 1日	シンガポール国立美術館	グエン・カン 1点

4 美術交流事業

(1) 美術作家招聘事業

	招聘者名(国名) [滞在期間]	主な活動内容	
1	ヤルー (韓国) [5月12日 ～8月9日]	作品制作	プロジェクション・マッピングの手法を使った映像インスタレーション作品「ヤルーパーク」を制作した。5種類の果物の形をしたスクリーンに、福岡で印象的だったものを組み合わせた映像を浮かびあがらせた。
		ワークショップ	「スマホでメディアアートを作ろう！」 シンガポール CHIJ 中学校 10人, 交流スタジオ (6/12, 13) 「スマホでメディアアートを作ろう！」 一般8人(子ども3人含), 交流スタジオ (6/12, 13)
		トーク	「滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～」46人, あじびホール (5/20) 「アーティスト・トーク」50人, 彫刻ラウンジ (7/29)
		展覧会	「ヤルー滞在制作作品「ヤルーパーク」公開」 一般685人, 交流ギャラリー (7/28-31)
2	クルパ・マーヒジャー (インド) [9月7日 ～12月5日]	作品制作	福岡の歴史や記憶をテーマに、福岡城に関わる絵図や文書の画像を石や瓦に転写し、本の中に埋め込んだインスタレーション作品と、日本の伝統技術金継ぎを使用した作品の2点を制作した。
		ワークショップ	「マスキングでインドの文様を作ろう！」 福岡市立有田小学校 3年生 99人, 彫刻ラウンジ (10/27) 「マスキングでインドの文様を作ろう！」 福岡市立賀茂小・有田小・次郎丸中特別支援学級 24人, 交流スタジオ (10/30) 「マスキングでインドの文様を作ろう！」 西南学院小学校 2年生 70人, 西南学院小学校 (11/10)
		トーク	「滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～」一般 52人, 彫刻ラウンジ (9/23) 「アーティスト・トーク」 春日市立春日南中学校 1年生 180人, 春日市立春日南中学校 (11/14) 「アーティスト・トーク」 50人, 交流スタジオ (12/2)
		展覧会	「クルパ・マーヒジャー滞在制作作品公開」 一般約430人 (12/2-25)

(2) 研究者・学芸員等招聘事業

	招聘者名(国名) [滞在期間]	主な活動内容	
1	レオノール・ヴェイガ (マカオ) [11月1日 ～30日]	調査研究	グローバル化する東南アジア現代美術における、海外の公的美術機関が果たした役割について調査・研究をおこなった。
		トーク	「アジア太平洋におけるソーシャリー・エンゲイジド・アート：アジア各地の社会に關与するアートの事例報告&ディスカッション」 56人、あじびホール(11/26)

(3) 受入支援事業

	招聘者名(国名) [滞在期間]	主な活動内容	
1	イム・イェン・サム (マレーシア) [5月8日～6月15日] シンガポールのユナイテッド・オーバーシーズ銀行の助成で来日。	作品制作	福岡で出会った地元の人々の顔を、ガーゼの布にあらわした刺繍作品12点を制作した。
		トーク	「滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～」46人、あじびホール(5/20)
		作品公開	彫刻ラウンジ(6/11～7/11)
2	レオナルド・バルトロメウス (インドネシア) [2月13日～3月31日]	調査・研究	当館の所蔵作品や資料を用いてインドネシアの風景画について、調査・研究をおこなった。
		トーク	「レオナルド・バルトロメウスさんと巡るインドネシアの風景画の旅」59人、アジアギャラリー(3/24)

(4) 地域交流事業

①「博多リバレイン灯明」

【開催日】10月21日(「第23回博多灯明ウォッチング2017」同時開催)

博多リバレインが毎秋開催している「博多リバレイン灯明」に、美術作家招聘事業で滞在していたクルパ・マーヒジャー(インド)が参加した。数千個の灯明をつかって、インドのフォークアート、ワルリー画に由来する図案で、農村の人々の暮らしを、博多リバレイン1階のフェスタスクエアに表現した。

5 教育普及事業

(1) スクールプログラム等による団体受入

種別	学校数	人数
小学校	21校	1,361人
中学校	22校	872人
高等学校	4校	177人

(2) 職場体験学習等受入

中学校 14校 63人

(3) ボランティア活動

(平成29年4月現在)

グループ	内容	人数	
1	案内・解説	アジアギャラリーの作品解説や施設案内	83
2	図書資料	図書資料の整理・修理, 配架	65
3	学芸資料	新聞記事のスクラップ, 学芸関連使用の整理補助	55
4	展覧会情報	展覧会のチラシの整理, 雑誌掲載記事の整理	24
5	広報	美術館広報誌や特別企画展などの印刷物の発送	30
6	読み聞かせ	絵本や紙芝居の読み聞かせ	38
7	活動支援	ボランティア向けブログの作成やメール配信, 研修や親睦会の企画	17
8	交流	滞在美術作家・研究者の活動や地域交流イベントなどのサポート	266
		延べ人数	578
		ボランティア登録者数 ^(※)	266

※一人が複数のグループで活動可

6 ミュージアム連携事業

(1) 市内ミュージアム連携企画「福岡ミュージアムウィーク 2017」

事業名	開催期間	講師	参加者数	
1	東山彰良トークショー	5月13日	東山彰良(作家)	100人
2	ギャラリーツアー	5月15日, 16日, 18日, 19日	当館ボランティア	27人
3	バックヤードツアー	5月14日, 21日	当館学芸員	40人
4	アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ	5月13日, 14日, 20日, 21日	当館ボランティア	50人
5	滞在者によるトーク	5月20日	ヤルー(韓国), イム・イェン・サム(マレーシア)	46人

(2) 福岡市美術館・福岡アジア美術館・福岡市博物館連携企画「冬のおとなミュージアム」

(※福岡市美術館資料 5ページ 4(2)参照)

(3) 福岡市文化プログラム「福岡城まるごとミュージアム」

(※福岡市美術館資料 6ページ 4(3)参照)

II 平成 30 年度事業計画について

1 展覧会の開催

(1) 特別企画展

- ① おいでよ！絵本ミュージアム2018 (担当：中尾収集展示係長)

【期間】7月19日(木)～8月19日(日)

子どもたちの感性や想像力・創造力をはぐくむために、五感に働きかける様々な仕掛けやオブジェ、絵本の世界観を感じることができる空間をプロデュースする。12回目を迎える今回は、これまでのノウハウを活かしながら、約1000冊の絵本と原画の展示や様々なイベントを通して、子ども時代、子どもならではの感性の大切さを伝える。

- ② 闇に刻む光 アジアの木版画運動1930s-2010s (担当：黒田運営部長、趙学芸員)

【期間】11月23日(金)～1月20日(日)

木版画は、1930年代から近年まで、中国・日本・韓国・シンガポール・インドネシアなどで、反植民地闘争・民主化運動・労働運動などの政治的なメッセージを伝えるため、また民衆の意識の覚醒や自己表現のため活発に制作された。本展では、このような木版画、リノカット、印刷物、関連作品・資料を紹介することにより、アジア現代史を貫く抵抗の精神を明らかにする。

(2) コレクション展

- ① アジアの近現代美術—黎明期から激動の現代へ (担当：中尾収集展示係長)

【期間】～12月25日(火)、1月2日(水)～

アジアの近代から現代までの美術の流れを、当館所蔵作品から厳選して紹介する。

- ② 海を渡った宝石箱—ガラス・象牙・漆 (担当：五十嵐学芸員)

【期間】4月19日(木)～7月10日(火)

19世紀にアジアからヨーロッパに輸出されたガラス絵、象牙画や、近年の中国やベトナム漆絵など、貴重な素材に描かれた絵画を紹介する。

- ③ 夏休みこども企画「サイエンスの眼」 (担当：柏尾囁託員)

【期間】7月12日(木)～10月2日(火)

福岡市科学館と連携し、アートとサイエンスをテーマに展示およびワークショップを行う。

- ④ 横尾忠則とアジア '89 (担当：五十嵐学芸員)

【期間】9月20日(木)～12月25日(火)

1989年に横尾忠則が参加した「アジア美術展」と「第4回バングラデシュ・アジア美術ビエンナーレ」を軸に、福岡市美術館所蔵の横尾忠則作品や関連資料を紹介する。

- ⑤ 《第 35 回伝統的工芸品月間国民会議全国大会 福岡大会》関連企画「手で考える」（担当：中尾収集展示係長）
【期間】10月4日（木）～1月15日（火）
糸や布、木、土などを素材に、手で考え、社会状況を語るような手工芸的アプローチをとる作品を紹介する。
- ⑥ アジア・ネクスト—はじまりの物語（担当：中尾収集展示係長）
【期間】1月2日（水）～
福岡市美術館のリニューアルに合わせ、誕生・変身・未来・朝をキーワードに、アジアの現代美術作品を紹介する。
- ⑦ 時代のモニター—アジア映像の展開（担当：趙学芸員）
【期間】1月17日（木）～3月26日（火）
自らが生きる時代を複数の視点で捉え、重層的なイメージを描き出すアジア作家の映像表現の歴史を紹介する。
- ⑧ あじび研究所（担当：柏尾，趙，五十嵐，中尾） **※新規企画**
【期間】4月19日（木）～，7月12日（木）～，9月20日（木）～，1月2日（水）～
当館所蔵作品から1点を選び、関連資料や図録を研究成果とあわせて紹介し、知られざる作品の背景に迫る。

2 美術品の収集

区分	主な作品名	点数
購 入	ブー・ホァ（ト樺）「最良のものはすでにある」ほか2点 など	（未定）

※「先行取得分の購入」は無し。

※30年度 購入予算額 3,700,000円

3 他館における展示

（平成30年6月現在）

	展覧会名	開催日	開催地	当館所蔵品
1	魔都の誘惑—上海当代芸術展	9月22日 ～11月25日	熊本市現代美術館	ジャン・ペイリー，ヤン・ジェンジョン 2点
2	アジアの目覚め：美術と社会 1960-1990年代（仮称）	10月10日 ～平成31年10月下旬	東京国立近代美術館 韓国国立現代美術館 シンガポール国立美術館	タン・ダウ 映像資料 1点

4 美術交流事業

(1) 美術作家招聘事業

招聘者		招聘期間（日数）
1	モー・ジアチン（中国）	5月17日～7月9日（54日間）
2	トゥー・キム・ブー（ベトナム）	9月～11月（61日間）
3	キャンディー・バード（台湾）	平成31年2～3月（45日間）

(2) 美術作家・研究者受入支援

滞在者		招聘期間（日数）
1	チョック・ユエ・ザン（マレーシア／美術作家）	5月14日～6月25日（日間）
2	キム・ジュンヒュン（韓国／研究者）	6月18日～7月20日（33日間）
3	ヴェラ・アルニー・カミンド・メイ （ニュージーランド／研究者）	9月（18日間）
4	シルケ・チクル（シンガポール／学芸員）	12月上旬（14日間） [予定]
5	クラリッサ・チキアムコ （フィリピン、シンガポール／学芸員）	12月中旬（14日間） [予定]
6	棕橋彩香（日本／研究者）	平成31年1月～3月（90日間）
7	リム・ソクチャンリナ（カンボジア／美術作家）	平成31年3月1日～31日（31日間）

5 ミュージアム連携事業

(1) 市内ミュージアム連携企画「福岡ミュージアムウィーク 2018」

【期間】 5月12日（土）～5月20日（日）

事業名		開催期間	講師
1	クロストーク ～本，アジア，カフェ～	5月12日	大井実（ブックスキューブリック代表） 前田勝利（MIC工房代表，建築家）
2	ギャラリーツアー	5月14日，15日， 17日，18日	当館ボランティア
3	バックヤードツアー	5月13日，20日	当館学芸員
4	アジアの絵本と紙芝居の 読み聞かせ	5月12日，13日， 19日，20日	当館ボランティア
5	滞在者によるトーク	5月20日	モー・ジアチン（中国），チョック・ユエ・ ザン（マレーシア）